

フィリピン 八学カーテル高開校 光星学院、初の海外展開

【フィリピン・サンマニユエル市で本社・福田駿(光星学院法人光星学院(法官新一理事長)とフィリピンの「カーテル科学教育財団(カリート・アレナス理事長)が運営する中高一貫校「八戸学院カーテル高校」の開校式が13日、フィリピン・サンマニユエル市の同校で開かれた。光星学院初の海外展開。同校では日本語や日本文化を学ぶカリキュラムを導入する予定で、光星学院は今後、同校を拠点にし、日本で活躍できる人材を育成する。



開校を祝う法官新一理事長(中央)ら=13日、フィリピンの八戸学院カーテル高校

同校は、カーテル財団が現地で運営していた学校の校名を変更する形で開校。フィリピンの若者に来日前に日本語などを学んでもらうことで、日本で就労する際の生活面でのギャップを軽減する狙いがある。

開校式では、法官理事長が「八戸学院カーテル高校を通じ、日本とフィリピン両国の若者が共に発展し、絆を深めていくことを願っている」とあいさつ。カリート理事長は「今後はフィリピンの若者に教育の重要性を分かってもらうことが大切。光星学院との協力によって多くの若者に教育の機会を与えることができる」と開校の意義を強調した。式後には日本語の模擬授

業が行われ、生徒があいさつの基本などを学んだ。

光星学院の子会社「八戸学院グループ」(大谷真樹社長)は9月ごろまでに、現地にITと日本語を集中的に学ぶトレーニングセンターを開設する予定で、ITや介護を中心に、さまざまな分野で人材育成に取り組む方針だ。